

次期計画((仮)第3次京都府環境基本計画)の全体構成

計画策定の趣旨

- 1 計画策定の背景
- 2 京都の使命と役割
- 3 計画の目的等
  - (1) 計画の目的
  - (2) 計画の性格

(3) 計画期間

(目標年次) を目途として取り組んでいく施策の目標と施策展開の方向を明示。

現状と課題、環境問題をめぐる動き

1 京都府の現状と課題認識

環境と経済・社会の関わりの変化  
人口減少時代の担い手不足  
AI、IoT等の技術の発展

**地球温暖化対策**  
世界の気温は工業化以前の水準よりも既に約1度上昇  
既に気候変動の影響が府内にも発現

**エネルギー**  
化石燃料等に依存するエネルギー供給構造  
再生可能エネルギーの伸び率の鈍化

**循環型社会**  
産業廃棄物最終処分量は近年横ばい  
プラスチック廃棄物、建設廃棄物の排出量の増大傾向  
頻発する災害に伴って発生する廃棄物や海岸漂着物への対策

**自然環境**  
絶滅のおそれのある野生生物種の増加  
京都の生活・文化を支えてきた自然環境の減衰  
人と自然との関係の変化

**環境管理**  
多様化する化学物質の管理  
閉鎖性水域の水質改善

2 環境問題をめぐる世界・国の動き

持続可能な開発のための目標(SDGs)  
国第五次環境基本計画(2018年4月)

**地球温暖化対策**  
パリ協定の発効、IPCC1.5°C報告書公表  
パリ協定期長成長戦略(2019年6月閣議決定)

**エネルギー**  
世界的な再エネに対する需要家ニーズの高まり(RE100等)  
国第5次エネルギー基本計画(再エネ主力電源化)(2018年7月)  
固定価格買取制度の抜本改正  
水素基本戦略の策定(2017年12月)

**循環型社会**  
中国政府による廃プラスチック輸入禁止(2017年12月)  
第4次循環型社会形成推進基本計画(2018年6月閣議決定)  
プラスチック資源循環戦略(2019年5月策定)  
G20が大阪ブルー・オーシャン・ビジョンを共有(2019年6月)

**自然環境**  
2020年以降の生物多様性の新たな世界目標や国家戦略についての議論開始(生物多様性条約第14回締約国会議)

**環境管理**  
POPRC14(ローマ)開催・PFOA廃絶対象物質追加勧告

京都府が目指す環境像・社会像  
(将来像の時期)

【新総計】20年後に実現したい姿  
「環境×経済の好循環型の社会」

■ 環境の保全に貢献し未来を拓く主体性のある人材が活躍する社会の実現

【第1回部会意見】  
・夢のあるような社会  
・やって楽しい施策  
・生きがいや夢を持たせられるように

■ 持続可能な脱炭素社会の実現

【新総計】20年後に実現したい姿  
「温室効果ガス排出ゼロへの挑戦」

【第1回部会意見】  
・RE100への産業界の取組  
・家庭部門でのさらなる省エネ

■ 地域と共生した長期安定的なエネルギー自立分散型社会の実現

【新総計】20年後に実現したい姿  
「自立分散型のスマートな社会」

■ 廃棄物が限りなく削減されたゼロエミッション社会の実現

【新総計】20年後に実現したい姿  
「ゼロエミッションな社会」

■ 自然や文化と調和し共生する地域社会の実現

【新総計】20年後に実現したい姿  
「人々の暮らしと自然との共生社会」

【第1回部会意見】  
人間・自然との全体でバランスの取れた共生

■ 環境リスクのない安心して住み続けられる社会の実現

環境と経済が両立され、府民一人ひとりが参画する  
夢や生きがいのある持続可能な社会の実現

施策の目標及び展開方向

1 子どもたちに夢や生きがいを与えられる環境教育の推進

(10年間の施策目標)  
.....

(施策の展開方向)  
・大学や環境NPOと連携した環境学習プログラムの実施  
・若者の環境リーダー養成や活動の支援

2 温室効果ガスの排出抑制と気候変動の影響に備える取組の推進

(10年間の施策目標)  
.....

(施策の展開方向)  
・エネルギーマネジメントや再生可能エネルギーの活用等による温室効果ガス排出量の削減  
・暮らしやすさにつながる省エネ等の普及  
・気候変動への適応策の推進

3 地域資源を活用した再生可能エネルギーの導入・活用の推進

(10年間の施策目標)  
.....

(施策の展開方向)  
・再エネによるエネルギー地産地消の推進  
・エネルギー関連事業者のデジタル化の支援  
・中小企業・府民の再エネ意識醸成・調達支援  
・水素技術等を活用した再エネの安定供給

4 限りある資源を大切に2R優先の循環社会の促進

(10年間の施策目標)  
.....

(施策の展開方向)  
・AI、IoT等の活用や人材育成等を通じた3Rの推進  
・もったいない精神やエシカル消費の普及  
・海岸漂着物の発生抑制や処理対策の推進

5 京都らしい自然と生活・文化が共生する社会の継承

(10年間の施策目標)  
.....

(施策の展開方向)  
・里地里山の利活用による生物多様性の保全と継承  
・人の暮らしを脅かす外来生物への対策  
・優れた景観や自然環境、生活環境を保全・創出

6 安心・安全な暮らしを支える生活環境の保全

(10年間の施策目標)  
.....

(施策の展開方向)  
・水質や大気、騒音等の環境モニタリング体制の強化  
・事務所等の監視・指導の適切な実施  
・有害化学物質対策の推進

分野横断的な取組

- ・環境イノベーション創出プロジェクトとして環境・経済・社会の好循環を生み出す取組を推進
- ・環境にやさしく、健康で質の高いライフスタイルへの転換
- ・水素エネルギーの普及・拡大による府内企業の発展と地域課題の解決
- など、環境×経済×社会の分野横断的な取組を記載

地域別の取組

- ・LNGやメタンハイドレートを活用したエネルギークラスター化
- ・山陰海岸ジオパーク利活用
- ・海岸漂着物対策
- など、地域の特性に応じた取組を記載

計画推進に向けて

・パートナーシップ(中間組織との連携強化) ・SDGsの考え方導入 ・AI、IoT、ビッグデータ等の活用  
など、計画推進の土台となる仕組み等を記載